日産自動車、EVコンセプトカー第四弾「ニッサン ハイパーパンク」を発表

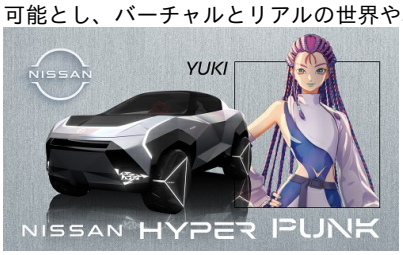
新宿の街頭ビジョンと「フォートナイト」内でEVコンセプトカーの世界観を紹介

日産自動車株式会社　2023年10月19日

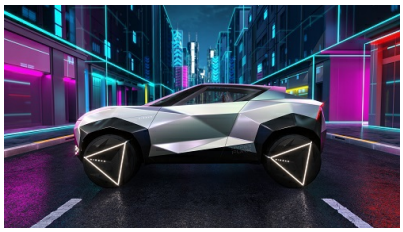
日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は19日、JAPAN MOBILITY SHOW 2023（ジャパンモビリティショー2023。一般公開日：2023年10月28日（土）～11月5日（日）、場所：東京ビッグサイト）に出展するEVコンセプトカーの第四弾となる「ニッサン ハイパーパンク」を発表しました。

また、同社は本ショーの一般公開に向けた期待感を高めるため、出展する「ニッサン ハイパーアーバン」「ニッサン ハイパーアドベンチャー」「ニッサンハイパーツアラー」「ニッサン ハイパーパンク」の世界観を幅広い層に訴求していきます。まず、本日より「クロス新宿ビジョン」にて、3D調で未来感あふれるダイナミックなEVコンセプトカー4台の映像を10月25日まで期間限定で放映します。さらに10月25日からは、「フォートナイト」*1内で、ゲームを通じてEVコンセプトカーの世界観を体験いただける「Electrify the World」を公開します。

前衛的でスタイリッシュなデザインに包まれた「ニッサン ハイパーパンク」は、コンテンツクリエイターやインフルエンサー、アーティストを始めとするスタイルとイノベーションを重視するお客さまが、自己表現と創造性を高めることができるコンパクトクロスオーバーEVです。車内で過ごす時間をよりクリエイティブなものにするコネクティビティ技術が、クルマの中での制作活動やクリエイターとのコラボレーションを可能とし、バーチャルとリアルの世界や、クルマの中と外がシームレスにつながります。



立体的で多角形を強調したエクステリアデザインは、クルマとデジタルの融合を表現しています。空力性能に優れたデザインやミニマルなデザインからは逆行するような、力強さを感じさせるスタイルは、これまでの常識にとらわれることなく、他者とは異なる自己表現をしたいというオーナーのマインドと、新しい技術やデザインにチャレンジする日産のマインドを表しています。



ひときわ目を引く色彩のボディカラーは、見る角度や光の当たり方で色の見え方が変わります。コンパクトなオーバーハングに23インチの大径ホイールを装着した安定感の高いデザインは、市街地もオフロードも走れる多用途なクルマの特徴を表現しています。また、ボディの表面と一体化した多角形な形状を強調するヘッドライトやテールランプ、リヤシグネチャーの形状が、このクルマのユニークさをより一層引き立てます。

インテリアは和紙や折り紙をモチーフとし、和のテイストを感じさせながらデジタルとアートが融合する室内空間を実現しています。例えば、車載カメラが撮影したクルマ周辺の景色の映像を、AIがオーナーの好みに応じて日本文化の象徴である漫画調の景色や様々なグラフィックパターンの景色に変換し、コックピットにドライバーを囲むように配置された3面ディスプレイに映し出すなど、現実とメタバースの世界が融合した空間を楽しむことができます。

ヘッドレストにはバイオセンシングセンサーを内蔵することで、ドライバーの健康状態などを検知することができます。検知結果を基に、AIがドライバーの気分を解析し、気分にあわせて自動的に照明を調整したり、室内空間に統合されたスピーカーから最適な音楽を流したりすることで、コンテンツの創作意欲をかき立てます。また、創作活動に必要なデバイスは、いつでもどこでも車載バッテリーから充電し、使用することができます。仲間とイベントなどを行う際には、V2X（Vehicle-to-everything）機能により、必要な電力をクルマから供給することもできます。

*1　「フォートナイト」はEpic Gamesの登録商標です。